

上まぶたたるみ手術について

上まぶたの皮膚のたるみを手術によって改善します。たるみの程度や形状に応じて、最適な手術方法を選択します。

手術内容

1. 眉毛下切開

両側の眉毛のすぐ下を切開し、たるんだ皮膚を切除することにより、たるみを改善する手術です。この方法は、もともと二重まぶたで、皮膚のたるみによって奥二重になった方に適しています。たるみの程度が大きい場合、眉毛が少し細くなる可能性があります。

手術は、眉毛のすぐ下に沿って皮膚を切開します。切開部から、余分なたるんだ皮膚を適切な量だけ切除します。たるみが大きい場合、切除範囲も広くなることがあります。皮膚の切除後、傷口は中縫い（真皮層）と外縫い（表面）の2層にわたって縫合します。これにより、キズの強度が保たれ、きれいなキズあとを目指すことができます。外縫いの糸は術後7日目に抜糸します（中縫いの糸は抜糸しません）。術後は安静が必要で、腫れや青あざを防ぐため、2日間は保冷剤を使用して患部を冷やします。

2. 上眼瞼切開

二重まぶたのラインに沿って皮膚を切開することにより、たるみを改善する方法です。たるみが比較的大きい場合や、一重まぶたの方で、手術後に二重まぶたを希望する方に適しています。

手術は、まぶたの二重ラインに沿って皮膚を切開します。切開部から、余分な皮膚を切除し縫合します。術後7日目に抜糸を行います。術後は腫れや内出血が必発で、2日間は安静にし、保冷剤を使用して患部を冷やすことが推奨されます。通常、腫れや青あざは術後3週間程度で治まります。

合併症とリスク

- 出血、血腫：**手術後の出血を予防するために2日間は自宅で安静にし、保冷剤などで十分に冷やしてください。出血が起こり、なかなか止まらない場合には再度処置が必要なことがあります。血腫（血の塊）が形成されても通常は吸収されますが、処置が必要なことがあります。
- 腫脹、出血斑：**術後はかなり腫れます。腫れ、青あざを予防するために2日間は自宅で安静にし、保冷剤などで十分に冷やしてください。腫れや青あざは通常術後3週間程度でおさまります。
- キズが開く：**ぶつけたりこすったりするとキズが開き、再度処置が必要なことがあります。
- 感染症：**手術部位が感染する可能性があります。感染症が発生した場合、抗生物質の投与や追加の治療が必要になることがあります。
- 縫合糸膿瘍：**眉毛下切開の場合中縫いの糸が炎症をおこすことがあります。追加で抜糸することがあります。
- 左右差：**手術後に左右のまぶたの高さや形が異なることがあります。術後3カ月ことが多いですが、再度手術が必要になることがあります。
- 過矯正または矯正不足：**手術後にまぶたが閉じにくくなる事や、たるみがまだ残っている事があります。多くのケースでは術後3カ月程度で落ち着きますが、再手術が必要になることがあります。
- 瘢痕形成：**手術後キズあとは赤く目立ちますが、通常は徐々に目立たなくなります。瘢痕が目立つ場合には、追加で治療が必要なこともあります。
- 再発：**時間の経過とともに、皮膚のたるみが再発する可能性があります。再発した場合、再手術が検討されることがあります。
- 御自身の思い描いている結果にならないことがあります。

\$PATIENT_ID\$ \$PATIENT_NAME\$
(説明メモ)

上まぶたたるみ手術 同意書

☐ 眉毛下切開

☐ 上眼瞼切開

説明日 年 月 日 説明医師：_____

- 施術前後写真などを「医学教育」や「研究目的」など学会論文発表で使用する場合があります。
- 施術前後写真などを院内説明写真やウェブサイト等掲載写真として使用する場合があります。
(写真は施術部位のみで個人が同定されないよう、ぼかし加工等を行います。一度承諾しても、再度拒否することはできます。)

☐ 上記に同意されない場合はこちらにチェックをしてください。

やむおえない場合を除いた手術当日のキャンセルは費用が発生する場合がございます。

キャンセルポリシーについてはホームページをご参照ください。

私は、手術の内容および起こりうるリスクを理解したうえで上記手術について同意いたします。

同意日 年 月 日

患者氏名 _____

代諾者氏名 _____ (続柄)

<未成年の方> 親権者の同意が必要となります。 ※下記事項は親権者ご本人がご記入ください。

私は、申込者の法的代理人として、申込者の上記施術および手術に同意いたします。

親権者名		続柄	
住所			
電話番号			